

令和5年度 ケアラー支援専門員設置事業
【海老名地域研修会】アンケート結果報告

【開催日時】2024年2月1日(木)15時～17時

【開催場所】海老名市総合福祉会館 【参加者数】66名 【回答数】55 【回収率】83%

1. 所属機関

表1. 所属 ※複数回答あり

所属機関名	(人)	(%)
居宅介護支援事業所	13	23.0%
民生委員児童委員	12	21.0%
障害者福祉サービス事業所等	5	9.0%
小学校	4	7.0%
社会福祉協議会	3	5.0%
海老名市役所	2	4.0%
児童相談所	2	4.0%
大学	2	4.0%
地域包括支援センター	2	4.0%
医療機関	1	2.0%
高齢者介護施設・事業所等	1	2.0%
保育所	1	2.0%
その他	6	11.0%
未記入	2	4.0%
合計	56	102.0%

※その他内訳:訪問看護、家庭相談課、市役所、教育委員会、児童養護施設、障がい者グループホーム

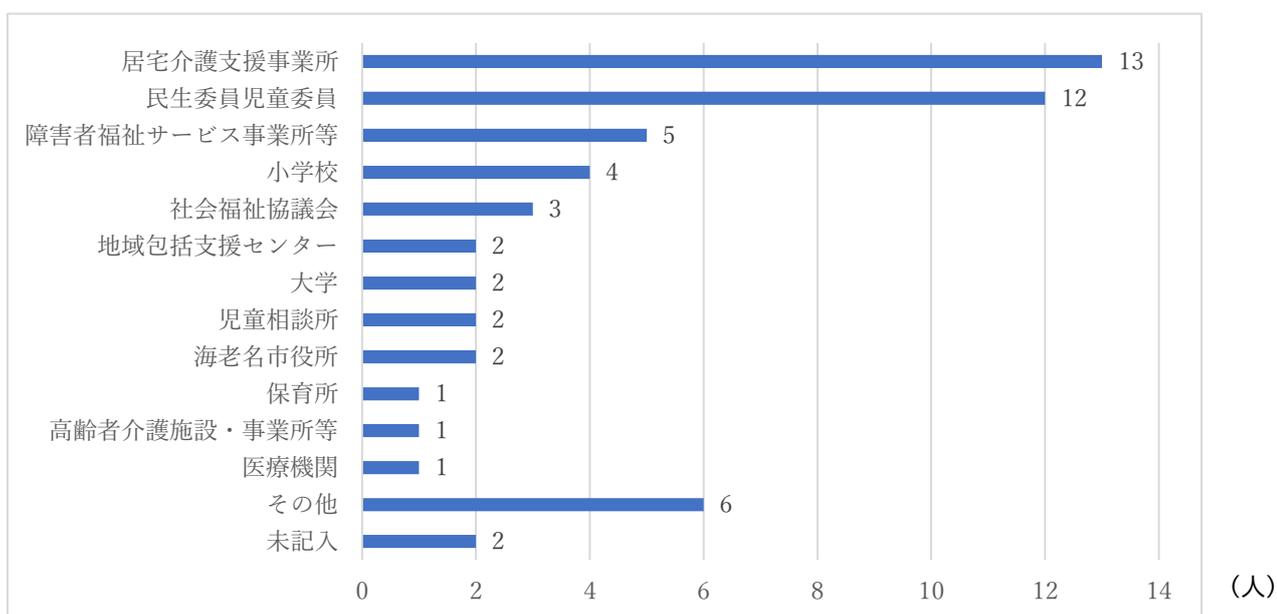


図1. 所属

2. 職種 ※複数回答あり

表2. 職種

職種	(人)	(%)
ケアマネ	13	21.0%
民生委員児童委員	10	16.0%
介護福祉士	5	8.0%
教員	4	6.0%
社会福祉士	3	5.0%
心理職	3	5.0%
精神保健福祉士	3	5.0%
相談支援専門員	3	5.0%
看護師	2	3.0%
保健師	2	3.0%
CW	1	2.0%
SSW	1	2.0%
養護教諭	1	2.0%
その他	9	15.0%
未記入	1	2.0%
合計	61	100.0%

※その他内訳:サービス管理責任者(2)、管理栄養士、グループホーム職員、児童福祉司、保育士、大学生

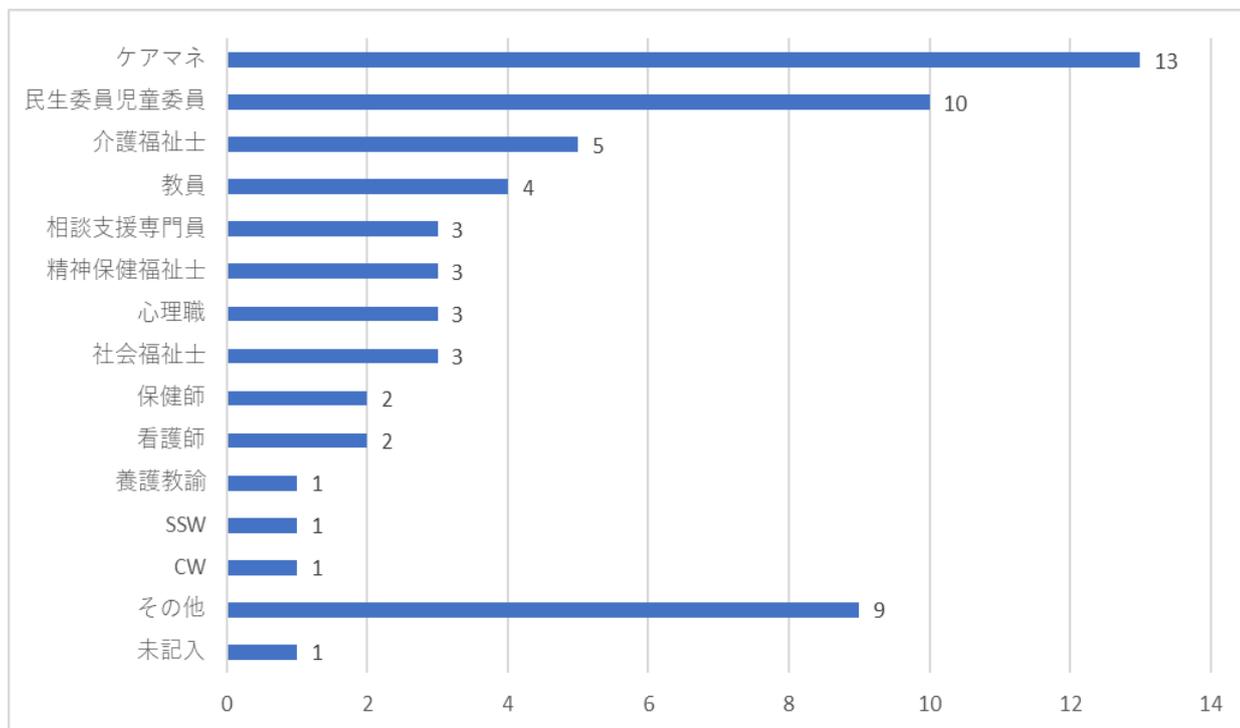


図2. 職種

3. 理解度

表 3.理解度

とても理解できた	だいたい理解できた	全く理解できなかった	どちらともいえない	あまり理解できなかった	未記入	合計
29	19	0	0	0	7	55
53%	34%	0	0	0	13%	

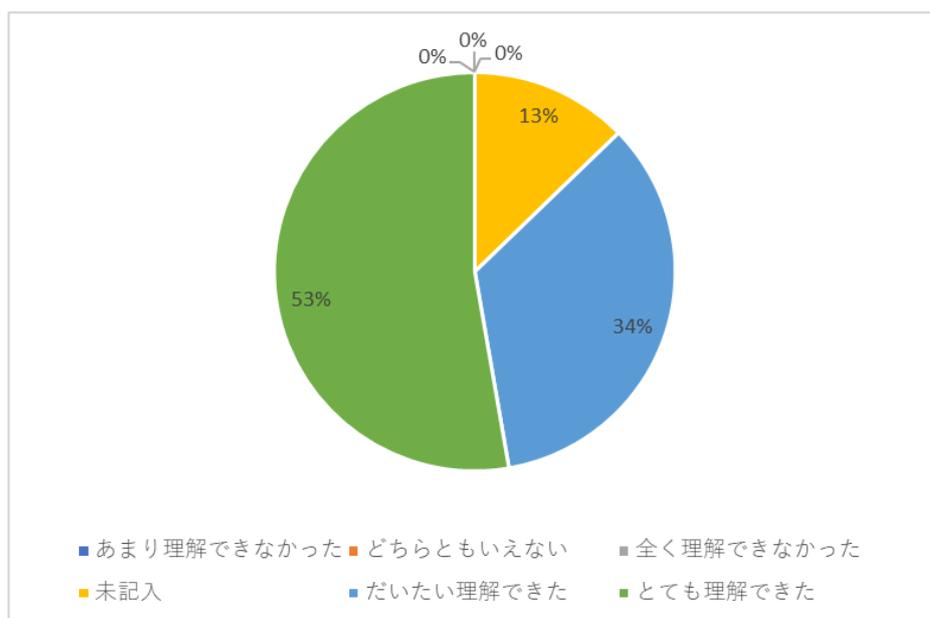


図3. 理解度

4. 印象深かった内容・感想・ご意見(自由記述)

- ・ヤングケアラーの当事者のお話を聞いて、悪者を作らない視点を持つということと、ケアを受ける親もケアラーの子どもも辛さがあることを忘れないで欲しいということが印象深かったです。
- ・他の職種の方たちと色々お話しできて良い機会でした。
- ・体験を聞き理解できました。
- ・講師の話をもっと聞きたかったです。一方でリフレクションもすごく貴重でこちらの時間も短くしないで欲しいです。
- ・まると支援が必要という事。
- ・様々な職種の方と意見交換できてとても良かった。
- ・当事者である子どもにとって気にかけてもらえたと感じる事が救いになることを伺い、姿勢のヒントになりました。何を望んでいるのか知り、寄り添うことが必要だと思いました。
- ・ヤングケアラーの日常生活に触れて欲しかった。学業はもちろん洗濯・掃除、何よりも食べることに関して、買い物・調理等子どもがどのように関わっているのだろうか？現状、色々なパターンがあると思う。経済的に困っている人が多いと思う。どのように過ごしていたのか等、相談できる受け皿、コミュニケーションが大切だと思いましたが、どう展開したらいいのか検討していきたい。
- ・対応としては行政となるだろうが堅苦しくなってしまうのが残念。気軽に(何かのついでに等)話ができる環境設定

をお願いしたいです。

・ヤングケアラーの体験、当事者のお話がとても印象的でした。お母さんを守りたいという気持ちとその生活。どのように伝えたら良いのか、相談しなかったこと…、どれだけ辛い思いもあったのだろうと。親子、家族まるごと支援。子どもが信頼できる大人と出会えることが大切。そんな地域を作るきっかけを作っていきたい。

・基調講演、当事者の話、もう少し詳しくお話を聞いてみたかったです。

・リフレクションミーティングでは、いろんな立場の人と支援について検討することができ、非常に良かった。

・ヤングケアラーの存在に気づいた時、相談を受けた際、どのような支援を行っているのか、具体例を伺ってみたいと思いました。カウンセリング以外にもあるのか、カウンセリングから変わることができているのか等。

・「家族まるごと支援」。学校での相談内容も、はじめは子どものことだったが、話していくうちにご自身の悩みになっていくことが多い。保護者の不安などをもっと聞いてあげられる(共有の)場が必要だと思った。

・「信頼できる大人」との出会いが「頑張っている子どもたち」の人生を変えることもできるのかな…と思いました。当事者の「悪者を作らない」という言葉が心に残りました。

「頑張っている大人」の皆さんの存在を知り、今日の研修で力をたくさん頂きました。

・話はとても理解しやすいです。グループワークも普段話さない職種の方と話ができて良かったです。地道に地域づくりをしていくことが必要だと思いました。

・貴重なお話、グループワークの機会をありがとうございました。対面での講演で、多職種の方のお話を聞くことができ参加できて本当に良かったです。

・気にかけてくれている。待っている支援。

・もう少し、講師の話、当事者のお話を聞ける時間があっても良かったかなと思いました。

・実際に体験された方のお話を伺い、当事者の気持ちが理解できました。ただただ親が悪い、かわいそうと思うのではなく、子どもの気持ちに寄り添う、見守ることが大切だと感じました。

・悪者を作らない視点。その子どもたちが自分の人生を歩めるようになる支援。ケアマネとして何ができるのか、大人として何をしたら良いか？私たちが一市民としてどうすることができるのか、具体的にできること、して欲しいことを学びたい。

・家族まるごと支援、悪者を作らない視点という言葉がとても印象的でした。

・課題＝悪いことのように捉えてしまいがちである自分の思考過程に気づき、課題を抱える家族全員の協働、寄り添い、時に立ち止まりながら、一緒に歩んで支援していけると良いかなと思いました。

・親が悪くて子どもは被害者でなく、家族まるごとサポートしていかなければならないという認識を持つことが大事なのだと思いました。

・子ども本人が、自分はヤングケアラーなんだと気付くことができているのか？SOSの出し方を知っているのか等、まだまだ分からないことの多い分野だと思いました。

・ヤングケアラーだった当時のお子さんたちが、辛さをどのように表現して伝えることができるのか、コミュニケーションの取り方、気づきも得られるようにするにはどうすれば良いのか、これから学んで行けたらと思いました。

・ヤングケアラーの子どもを支援する際に「これはあなたの問題ではない。私たちがあなたの親を助ける」と言ってくれたら嬉しいなと思いました。

・地域の力を強化すること。

・講師のお二人のお話をもっと聞けると良かったかなと個人的には思いますが、リフレクションの時間もやはり良い時間でした。ありがとうございました。

・もう少しお話を聞きたかった。

・いかに手を挙げる状況を作りだすか。

- ・ケアラーに対する支援体制について。
- ・子どもに対するアプローチの仕方が難しいと思いました。地域で気づける大人になりたいと思いました。
- ・自立が遅くなったり、できなくなっている方が近くにいらっしゃいます。子ども時代から青年・中高年になっても続いていくことを改めて感じました。
- ・言葉として知っていた「ヤングケアラー」という実情を詳しく知れて良かった。ただ、現実には「ヤングケアラー」と言う言葉すら知らなかった。言葉は知っていたが「本当にこんな子どもがいるのか？」と思った方もいらっしゃったので、もっと地域や社会にこのことを知ってもらう機会が必要だと感じた。子どものためにもいち早く気づき、見守る視点を持って行きたいと感じました。
- ・生きづらさを理解していく(頼られる大人になる)。気付く。必要な時に近くにいる。地域作り(浸透させる)。
- ・家族として支援が必要なことを理解した中で、行政としては、縦割りとならない支援のあり方を考えていく必要があると考えました。何かあったときに話が聞けるための「待つ支援」が必要なことと、そのための準備(周知・啓発をして理解を促進すること。支援を適切かつ有効に行えること)が必要と考えました。貴重な機会をありがとうございました。
- ・ヤングケアラーであることに気づかない子どもが多いこと。32.9%いることを知った。
- ・ヤングケアラーのために不登校となっている子どもにどのような支援ができるか、具体的な方法が知りたいと思った。(親子で共依存となっている状況も多いとのこと)気に掛けるという事が重要だという事。信頼できる大人として、「くもの糸を垂らしておくこと」も重要だと知り、印象的だった。
- ・前にもヤングケアラーについて研修を受けた事がありますが、漠然としていてわかりにくかったです、だいたい理解できたと思います。子どもとのつながりとかを大事にしたいと思います。
- ・親の支援と子どもの支援の両方が必要で、親子まるごと大切という言葉が印象に残りました。
- ・当事者の話は、初めてだったので参考になりました。不幸でもないし、当たり前なこと→家族だから。この構図や生活などに支障が出てしまうような状況を早くキャッチできるようアンテナを高くしていきたいと思った。
- ・当事者の方のお話を聞いたことがなかったので、生の声で体験を聞かせて頂けて良かったです。ありがとうございました。
- ・SOS を子どもたちが出すことが難しいこと。どの様なケアサービスがあるか。
- ・まるごと支援するために、自分の分野以外の知識を修得する研修。
- ・気にかけてくれている事が支えになる。大きな輪で子ども達を待つ支援と言うお話が印象に残りました。
- ・親と支援者の仲が良いと安心するという言葉が印象に残りました。私も母子の支援をしているのですが、保護者とお子さんとの距離感を大切にしたいと思いました。
- ・大人って頼られていない。知った気になっている。
- ・ヤングケアラーへの支援＝家族への支援という事を本当に痛感しました。地域にいる者として何かできることを考えると、こうしたお話を聞き情報を持っておくことで相談されたり気づいた時、「つなぐ」対応ができるのではと感じました。本日はありがとうございました。
- ・ヤングケアラーは SOS が出せない。一番立場の弱い方(子ども)が引き継がれている実態がやっぱりと思います。私も経験から感じるがありました。